

2014/2/25 (Tue.) 第85号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)

日医連執行委員会開催

役員等人事・平成二十四年度収支決算・平成二十六年負担金基準額を承認



日医連執行委員会で挨拶する横倉義武委員長 (1月21日)

日本医師連盟は、1月21日、日医会館で執行委員会を開催した。「日医連役員等人事」「平成24年度収支決算」「平成26年度負担金基準額」について審議を行い、全会一致で承認した。

診療報酬改定について

執行委員会は、今村聡副委員長長の司会で開会。はじめに横倉義武委員長が、昨年末に急逝した大野和美前常任執行委員への哀悼の意を表したのち、次のように挨拶した。

「本日はご多忙のなか、執行委員会にご出席いただき感謝申候。候補者の支援活動にご尽力をい

し上げる。昨年七月の参議院議員選挙において、古川俊治議員(埼玉選挙区)、武見敬三議員(東京選挙区)、羽生田俊議員(全国比例区)への支援に改めて感謝申し上げますとともに、他の選挙区においても各県医連推薦候補者の支援活動にご尽力をい

(別表1) 消費税8%への引上げに伴う対応の概要

| 現行 | 改定後 ()内は消費税対応分 |
|---------------------------|-------------------------------|
| 初診料 270点 | (改) 初診料 282点 (+12点) |
| 再診料 69点 | (改) 再診料 72点 (+3点) |
| 外来診療料 70点 | (改) 外来診療料 73点 (+3点) |
| 入院基本料 (有床診療所入院基本料を含む) 各点数 | (改) 入院基本料 平均的に+2%程度上乗せ |
| 特定入院料 | (改) 特定入院料 |
| 短期滞在手術基本料 | (改) 短期滞在手術基本料 |
| 【個別項目】 | 【個別項目】 |
| 外来リハビリテーション診療料1 69点 | (改) 外来リハビリテーション診療料1 72点 (+3点) |
| 外来放射線照射診療料 280点 | (改) 外来放射線照射診療料 292点 (+12点) |
| 在宅患者訪問診療料1 830点 | (改) 在宅患者訪問診療料1 833点 (+3点) |

(出典 平成26年度診療報酬改定の概要 2014年2月11日版 (厚生労働省保険局医務課))

ただ、御礼を申し上げる。さて、昨年末に決定された平成二十六年診療報酬改定についてであるが、厳しい国家財政のなか財務省は、当初は、マイナス五%程度の大幅な引下げの方針であった。しかし全国の医師連盟会員の先生方、自民党の国会議員の先生方のご協力をいただき、自民党内に『国民医療を守る議員の会(議員連盟)』を立ち上げていただき、診療報酬プラス改定に関する決議をしていただいた。大変厳しい改定を考えていた財務省・官邸であったが、最終的には全体としてプラス〇・一%で決着した。しかしながら、薬価引下げ分を勘案すると、実際はマイナス一・二六%となり、極めて厳しい結果であったと考えている。しかし、四月からの消費税増税補填分については日医連(日医)や厚労省の主張が百パーセント認められ一・三六パーセントとなった。今後、補填分については、初再診料を中心に対応を検討されるこのことである。

今回の診療報酬改定は、四月からの消費税率引上げと同時期であることから、国民負担を増やさないようにとの政府の強い意向等があり、薬価引下げの国庫への繰り入れが行われた。これはこのような背景のもとに、あくまでも今回限りの特例的なことを受け止めている。

大層なマイナス改定圧力を押し戻すことができたのは、医師連盟活動の成果であり、全国の先生方のご協力に感謝を申し上げます。

「参議院議員選挙でのご支援に深く感謝を申し上げます。国会では医療法の改正が行われるが、問題の多い提案もあるの



古川俊治参議院議員挨拶

「参議院全国比例区選挙においては、全国の連盟の先生方のご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。通常国会では、全国の先生方のご意見を国政の場ですっきりと発言して参りたい。また自民党の部会(政策会議)でも厚生労働部会を中心に医療政策について、積極的に発言を行っていくので、引き続きのご指導・ご支援をお願いしたい(要旨)」



羽生田俊参議院議員挨拶

「参議院全国比例区選挙においては、全国の連盟の先生方のご支援をいただき厚く御礼を申し上げます。通常国会では、全国の先生方のご意見を国政の場ですっきりと発言して参りたい。また自民党の部会(政策会議)でも厚生労働部会を中心に医療政策について、積極的に発言を行っていくので、引き続きのご指導・ご支援をお願いしたい(要旨)」

(二面つづ)

(別表2) 平成24年度日本医師連盟収支決算報告書

期間収支計算書(平成24年4月1日~平成25年3月31日)(単位:円)

| 収入 | |
|------------------------------|---------------|
| 負担金 | 1,030,076,000 |
| 特別会費 | 0 |
| 寄付金 | 0 |
| その他収入 ※銀行預金利息等 | 1,324,277 |
| 繰越金 | 1,695,245,968 |
| 合計 | 2,726,646,245 |
| 支出 | |
| 経常経費(A) (人件費、備品消耗品、事務所費等) | 60,211,296 |
| 政治活動費(B) | 1,212,023,579 |
| ・組織活動費 | 165,735,931 |
| ・選挙関係費 | 21,500,000 |
| ・機関紙誌発行その他の事業費 | 71,307,003 |
| ・調査研究費 | 249,405 |
| ・寄付交付金 | 953,231,240 |
| 支出計(A+B) | 1,272,234,875 |
| 剰余金 | 1,454,411,370 |
| 合計(支出計+剰余金) | 2,726,646,245 |
| 負担金未収入金 | |
| 平成23年度分 | 9,084,000 |
| 平成22年度分 | 5,160,000 |
| 合計 | 14,244,000 |

(一面より)

松原謙二日医副会長が 日医連副委員長に就任

〔日医連役員等人事について〕

議事に移り、日医連役員等人事について、横倉委員長から「昨年十月の日医臨時代議員会における、役員補充選任や都道府県医師連盟からの執行委員変更等に伴い一部の役員・執行委員等の変更をお願いするものである」と説明があり、承認された。

○新任

松原謙二副委員長
小森貴常任執行委員(前参与)
茨城、群馬、神奈川、兵庫の

各県で執行委員の交代。
○退任 ()内は退任前の役職
羽生田俊(副委員長)
三上裕司(常任執行委員)
大野和美(常任執行委員)

〔平成二十四年度収支決算〕

平成二十四年度収支決算について、川島龍一会計責任者が配付資料に基づき収支内容の説明と報告を行った(一面別表二参照)。

これを受け、沖田信光会計監督者が「平成二十四年度収支決

日医連常任執行委員会 開催



日医連 常任執行委員会 (1月21日)

日本医師連盟は、一月二十一日、日医会館で常任執行委員会を開催した。
当日は「日医連役員等人事」、「平成二十四年度収支決算」、「平成二十六年度負担金基準額」の

各議案について審議を行い、提出議案すべてが全会一致で原案どおり承認された。承認された議案は、同日午後開催の日医連執行委員会に上程された。

算について会計監査を行った結果、適正妥当であることを確認した」と報告した。
収支決算に関連し、執行委員から次のような意見が述べられた。
「繰越金がかかりの額に上っている。選挙以外でも勉強会など連盟の会合を開催していただきたい。また、会員の先生に収支決算の説明を行うと、会費を少し安くしてほしい、都道府県への交付金を増やしてほしい、という意見が出るのだが(・岡山県)」

これに対し川島会計責任者は、「本日ご説明した収支報告は、平成二十四年度(平成二十四年四月〜平成二十五年三月)のものであり、平成二十五年七月の参議院議員選挙関連費用については、その大半が計上されていない。平成二十五年末では繰越金も減少する見込みである」と説明した。

日医連の日常の活動については、今村副委員長から次のような説明があった。
「日医連がどのような活動を

来年度負担金基準額は 今年度と同額で決定

〔平成二十六年度負担金基準額〕

平成二十六年度負担金基準額について、今村副委員長が、「平成二十五年と同様に一連盟会員あたり二万円とさせていただきますので、執行委員の先生方のご承認をお願いしたい」と提案した。

審議の結果、平成二十六年度負担金基準額は原案どおり全会



日医連 執行委員会 (1月21日)

行っているかを多くの先生方にご理解いただき、医政活動の重要性についてご理解いただけるよう、「日医連医政活動研究会」をブロック別に開催している。この研究会を県単位や都市区医師連盟の単位で開催していただきたいと考えている。そのような日常的な活動に資金を有効に活用したいと考えているので引き続き日医連活動へのご理解をいただきたい(要旨)」

審議の結果、全会一致で平成二十四年度収支決算を承認した。

一致で承認された。
最後に横倉委員長から「日常の医師連盟活動については、本日ご意見をいただいたところでありますが、よりいっそう政治活動や医政の重要性を多くの先生方にご理解いただけるような日常活動を展開して参るので、引き続きご協力をお願いしたい」と挨拶があり執行委員会は閉会した。

平成二十五年年度

第二回「日医連医政活動研究会」

ブロック別研究会開催

今年度のブロック別「日医連医政活動研究会」が、二月十一日の中国四国ブロックを皮切りに順次開催されている。各会場では、日医連役員が、医政活動の重要性や、日医連が行っている日常の政治活動(陳情活動)について、具体的な内容とその成果、今後の課題についての解説を行い、若手医師の医政活動への積極的参加を促している。本号では中国四国、九州、近畿の各ブロック研究会の模様を紹介いたします。

二月十一日 中国四国ブロック (当番県 広島県医師連盟)



「日医連医政活動研究会」(中国四国ブロック)

二月十一日、第二回「日医連医政活動研究会」(中国四国ブ

ロック)が広島市内で開催された。当日は、各県の研究会メンバーと地区医師連盟役員等約百名が参集した。温泉川梅代広島県医師連盟常任執行委員の司会で開会。はじめに、平松恵一広島県医師連盟委員長から、「日本の医療制度を維持・発展させるためには、政府や与野党の国会議員に



参加者と意見交換を行うパネラー

切である。そのためには、医政活動の重要性を会員の先生方にご理解いただき積極的に参加をしていただきたい。医師会と医師連盟が一致団結して医療の現場から国政を動かしていきたい(要旨)」
また、松原謙二日医連副委員長は、「医療政策は、患者や医療従事者をはじめ財務省、厚生省、企業経営者、労働団体」

くなど、さまざまな利害関係者がいる。医師も力をひとつにして政治的な力をもたなくては私たちの考える医療政策を実現することは難しい。また、地域の国会議員を応援して、何かあれば国会で発言していただけるような関係を築くことも大切である。先生方には、何が国の政策を動かすのかを、理解いただきたい(要旨)と述べ、医療活動への参加と組織の団結の重要性を訴えた。

講演の部では、高杉敬久日医連常任執行委員から『医療介護の改革の方向』と題して、「医療活動について」、「TPP(環太平洋経済連携協定問題)」、「医療に関する規制緩和の問題点」、「平成二十六年診療報酬改定」、「医療法改正について」の講演が行われた。

引き続いて、自民党副幹事長の寺田稔衆議院議員(広島五区)から『医療に関する税制について』の講演があり、控除対象外消費税問題の解決策について、①課税化ゼロ税率方式、②非課税・個別申告還付方式の二案について詳細な説明があり、寺田

議員は、②の還付方式が望ましいと解説した。また、「医療法人の医療経営に関わる相続税納税猶予等の特例措置」創設についても制度説明が行われた。そのうち、ディスカッションが行われ、寺田議員、松原副委員長、高杉常任執行委員、平松広島県医連委員長、豊田秀三広島県医連副委員長が参加者と熱のこもった意見交換を行った。研究会終了後、懇親会が行われ、寺田議員を含め参加者の間でさらなる議論が展開された。

【今村聡日医連副委員長】今村副委員長は、「税制と医療活動」と題し、消費税率アップを目前にしての医療政策と医療活動の具体策等について説明を行い、最後に次のように述べた。「今回の診療報酬改定においてもそうだが、医療政策課題の実現については、日医連から与党である自民党政務調査会や税制調査会等への働きかけ、国会議員への陳情等の地道な活動を行うことが、政府与党の政策決定に大きく影響をもたらすことになる。医政活動の役割と重要性をより多くの先生方に浸透させていただきたい(要旨)」。

【羽生田俊自民党参議院議員】羽生田先生は、「今後の医療政策について」と題し、議員から見た医政活動について、選挙活動や国会活動を中心に語った。

【玉城信光沖縄県政策参与・沖縄県医師連盟副委員長】玉城先生は、「沖縄県政策参与とは」と題し、沖縄県から医療分野におけるイノベーション等を述べた。

【比嘉奈津美自民党衆議院議員】比嘉先生は、「沖縄科学技術大学院大学を中心とした知的クラスター形成について」を題し、大学院大学やゲノム解析等の医療技術の位置づけなどについて説明を行った。

三月一日 九州ブロック

(当番県 沖縄県医師連盟)



「日医連医政活動研究会」(九州ブロック)

活動研究会が、去る三月一日に那覇市内において開催された。九州八県から研究会メンバーと沖縄県医師連盟役員・若手医師連盟会員等多数が参加し、研究会において医政活動の重要性や政策等について講演が行われた。

九州ブロックにおける平成二十五年度・第二回「日医連医政活動研究会幹事長」の司会のもと、座長二名(安里哲好沖縄県



質問する参加者

【比嘉奈津美自民党衆議院議員】比嘉先生は、「沖縄科学技術大学院大学を中心とした知的クラスター形成について」を題し、大学院大学やゲノム解析等の医療技術の位置づけなどについて説明を行った。

【玉城信光沖縄県政策参与・沖縄県医師連盟副委員長】玉城先生は、「沖縄県政策参与とは」と題し、沖縄県から医療分野におけるイノベーション等を述べた。

【羽生田俊自民党参議院議員】羽生田先生は、「今後の医療政策について」と題し、議員から見た医政活動について、選挙活動や国会活動を中心に語った。

【玉城信光沖縄県政策参与・沖縄県医師連盟副委員長】玉城先生は、「沖縄県政策参与とは」と題し、沖縄県から医療分野におけるイノベーション等を述べた。

【比嘉奈津美自民党衆議院議員】比嘉先生は、「沖縄科学技術大学院大学を中心とした知的クラスター形成について」を題し、大学院大学やゲノム解析等の医療技術の位置づけなどについて説明を行った。

三月二日 近畿ブロック

(当番県 和歌山県医師連盟)



挨拶する寺下浩彰和歌山県医師連盟委員長

去る三月二日、大阪市内のホテルで、平成二十五年度・第二回「日医連医政活動研究会(近畿ブロック)」が開催され、会場は二百名を超える近畿ブロックの会員で埋め尽くされた。研究会は、ブロック当番県の田村公之和歌山県医師連盟副委員長の司会で始まり、まず寺下浩彰和歌山県医師連盟委員長より、「長期低落傾向にあった日医連の政治活動も、先般の羽生田候補の当選により何とか一息ついた

活動の基本は、いかに国民皆保険を守るかということであり、具体的には、①公的な医療給付範囲を将来にわたって維持すること、②混合診療を全面解禁しないこと、③営利企業を医療機関経営に参入させないことである。すべての人に優しい医療を提供できるように、全力で邁進していきたい」との力強い発言があった。

次に、松原謙二日医連副委員長が「医政活動の意義」と題して講演を行った。松原副委員長は、「今次診療報酬改定は、当初から財務省はマイナス改定を強く主張し、それを受けて、総理大臣や財務大臣を中心とした官邸筋、厚労大臣等の関係省庁大臣さらには自民党三役へ繰り返し陳情活動を展開。併せて自民党の「国民医療を守る議員の会(三百二十名)」等の議員連盟を結成していただき、官邸筋等への各種の働きかけを行っていった結果、今次診療報酬改定を得たものである。いずれにせよ、医政活動の基本は、地区医師会が有力な与党の政治家と接触を持ち、それらの政治家を育て、永田町で大きな政治力を発揮してもらえよう関係を構築することである」と述べた。



「日医連医政活動研究会」(近畿ブロック)